

第 5 回犯罪被害実態（暗数）調査のうち  
「性的な被害」に係る調査結果（概要）

## 1 調査概要

- (1) 調査対象者  
全国 16 歳以上の男女 6, 000 人を無作為抽出により選定
- (2) 調査項目
  - ・ 個人単位での犯罪被害として、性的な被害や強盗など 7 罪種
  - ・ 世帯単位での犯罪被害として、自動車盗や自転車盗など 7 罪種
  - ・ 各種詐欺等被害
  - ・ 治安に関する知識や犯罪に対する処罰の在り方など
- (3) 調査方法  
法務省が調査を委託した民間事業者の調査員による訪問調査  
調査員が調査対象者の自宅を訪問し、主に聴き取り方式による調査を実施  
ただし、一部の調査項目（性的な被害など）については、調査対象者自身で調査票に記入・提出する方式（以下「自計方式」という。）による調査を実施  
自計方式を採用した調査票の提出方法は、①その場で調査票を封かんして提出、②後日調査員が再訪問した際封かんして提出、③郵送で提出、④オンラインで回答の 4 種類から、調査対象者自身が選択する。
- (4) 調査回答者  
聴き取り調査に対する調査回答者数は、3, 709 人  
そのうち、自計方式による調査票全ての提出があった人数は、3, 500 人（男 1, 688 人、女性 1, 812 人）

## 2 性的な被害に関する調査の集計結果

- (1) 性的な被害の有無  
過去 5 年間に性的な被害に遭ったことがあると回答した者 35 人（1. 0%）  
【内訳】女性 30 人（女性回答者の 1. 7%）  
男性 5 人（男性回答者の 0. 3%）
- (2) 捜査機関への届出の有無  
上記(1)の 35 人のうち、
  - ・ 捜査機関に被害を届け出なかったと回答した者 28 人
  - ・ 捜査機関に届け出たと回答した者 5 人
  - ・ 無回答 2 人
- (3) 捜査機関に届け出なかった理由  
「それほど重大ではない（損失がない、大したことではない）」10 人、「どうしたらよいのか分からなかった（被害を届け出る方法が分からなかった）」8 人、「自分で解決した（加害者を知っていた）」4 人、「被害に遭ったことを知られなくなかった（恥ずかしくて言えなかった）」4 人、「捜査機関は何もできない（証拠がない）」4 人など
- (4) 被害の内容  
「痴漢」11 人、「セクハラ」7 人、「強制的性交等」1 人、「強制わいせつ」1 人、「暴行や脅迫を受けていないが意に反するわいせつ被害」2 人など